

平成17年度教育研究業績書

氏名 千原 美重子

最終学歴	京都大学大学院教育学研究科教育法法学専攻博士課程単位取得満期退学
取得学位	京都大学大学院修士（教育学）
所属学会	日本心理臨床学会・日本心理学会・日本教育心理学会・日本発達心理学会・関西心理学会
現在の専門分野	教育臨床心理学・発達臨床心理学
研究課題	学校不適応生徒に対するスクールカウンセリングの効果的機能

【研究上の特記事項】

保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校における問題行動に対するカウンセリング機能について研究するため、できるだけ現場に足を運び、現状を観察・分析を行った。

【教育上の特記事項】

課外であるが、山城教育局の教育現場での学生・院生のボランティア活動に関する勉強会を定期的にもち、不登校、発達障害、反社会的行動を示す児童・生徒の心理的状況を発表させ、理解を深めた。

【社会的活動】

滋賀県臨床心理士会副会長・スクールカウンセラー担当理事・スクールカウンセラースーパーバイザー

【学内活動】（学内職歴を含む）

学生指導委員会委員、学生相談員、学生相談室運営委員会委員、図書館委員会委員、総合研究所運営委員会委員、セクシャルハラスメント相談員

著書、学術論文等の名称	単著、 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概要
(著書) 2 3 4 5				
(学術論文) 学校教育における心の問題への対応 (1) -学校臨床心理士の活動に関する考察-	単著	2006年3月	奈良大学総合研究所所報No.14	スクールカウンセラーがどのような業務を行い、どのような課題をもっているかを調査するとともに、効果的な機能を果たすために諸外国のスクールカウンセラーの活動をあげ、より望ましいスクールカウンセリング構造の試案を示した。
3 4 5				
(学会発表) 3 4 5				
(その他) 学生相談室の意義に関する 考察 2 3 4 5	単著	2006年3月	奈良大学学生相談室	青年期後期にある大学生にとって学生相談室の果たす役割を考察したものである。